

## 令和6年度 保健体育科「保健」シラバス

単位数	1単位	学科・学年・ 学級	普通科 2年 1～8組 全員
教科書	現代高等 保健体育 (大修館書店)	副教材等	現代高等 保健体育ノート(大修館書店)

## 1 学習の到達目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していくための資質や能力を身につける。

## 2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価方法
4	生涯を通じる健康	1.ライフステージと健康	○ライフステージと健康との関連について理解する。	○学習状況観察 (実習含む) ○保健体育ノート ○学習プリント ○学年末考査 ○班別でのディス カッションと発表
5		2.思春期と健康	○思春期における心身の発達や健康課題について特に性的成熟に伴い、体型面、心理面、行動面が変化することについて理解する。	
6		3.性意識と性行動の選択	○自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解する。	
7		4.妊娠・出産と健康	○受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解する。	
8		5.避妊法と人工妊娠中絶	○避妊法や人工妊娠中絶の心身への影響などについても理解し、結婚生活を健康に過ごすには、責任感や良好な人間関係、周囲の支援、及び保健・医療サービスの活用が必要なことを理解する。	
9		6.結婚生活と健康	○健康な結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理解する。	
10		7.中高年期と健康	○加齢に伴う心身の変化について、形態面及び機能面から理解するとともに、適切な健康習慣や定期的な健康診断等自己管理の重要性を理解する。	
11		8.働くことと健康	○近年の作業形態の変化やその変化に伴う生活習慣病や精神的ストレスにより健康を害することがあることを理解する。	
12		9.労働災害と健康	○労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量に変化してきたことを理解し、労働災害を防止するには、健康管理と安全管理が必要であることを理解する。	
13		10.健康的な職業生活	○健康の保持増進は、職場の健康管理や安全管理と共に、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることに加え、日常生活においては、積極的な余暇活動による生活の質の向上を図ることなどで健康の保持増進を図っていくことが重要であることを理解する。	
10	健康を支える環境づくり	1.大気汚染と健康	○人間の生活や産業活動に伴う大気汚染は人々の健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあることを理解できるようにする。	○学習状況観察 (実習含む) ○保健体育ノート ○学習プリント ○学年末考査 ○班別でのディス カッションと発表
11		2.水質汚濁・土壌汚染と健康	○人間の生活や産業活動に伴う水質汚濁、土壌汚染は人々の健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがあることを理解できるようにする。	
12		3.環境と健康にかかわる対策	○健康被害や影響を防止するには、汚染物質の抑制、汚染物質の適切な処理が必要であることを理解し、そのための総合的・計画的な対策が講じられていることを理解する。	
11	健康を支える環境づくり	4.ごみの処理と上下水道の整備	○上下水道の整備、ごみや尿などの廃棄物の処理などの環境衛生活動は環境と健康を守るために行われていることを理解し、また、その現状、問題点、対策などを総合的に把握し改善していかなければならないことについて、安全で良質な水の確保や廃棄物の処理と関連付けて理解する。	○学習状況観察 (実習含む) ○保健体育ノート ○学習プリント ○学年末考査 ○班別でのディス カッションと発表
12		5.食品の安全性	○食品の安全性の確保は、食品衛生法などによる、食品の製造・加工・保存・流通などの各段階での適切な管理が重要であることを理解する。	
12	健康を支える環境づくり	6.食品衛生にかかわる活動	○健康被害の防止と健康の保持増進には、適切に情報を公開活用するなど行政・生産者・製造者・消費者などが互いに関係を保ちながら、それぞれの役割を果たすことが重要であることについて理解する。	

1	健康を支える環境づくり	7.保健サービスとその活用	○保健行政の役割や保健サービスの活用について理解する。 ○医療保険のしくみやさまざまな医療機関の役割について理解する。 ○医薬品の正しい使用法や、医薬品の安全性を守る取り組みについて理解する。 ○国際機関・民間機関などの保健活動や、行政機関による社会的対策について理解する。 ○健康の保持増進のための環境づくりや、環境づくりへの主体的な参加が、自他の健康づくりにつながることを理解する。	○学習状況観察（実習含む） ○保健体育ノート ○学習プリント ○学年末考査 ○班別でのディスカッションと発表
2		8.医療サービスとその活用		
3		9.医薬品の制度とその活用 10.さまざまな保健活動や社会的対策 11.健康に関する環境づくりと社会参加		

### 3 評価の観点

主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じる健康・社会生活と健康について、健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに興味をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
思考力・判断力・表現力	生涯を通じる健康・社会生活と健康について、健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。
知識・理解	生涯を通じる健康・社会生活と健康について、健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。

### 4 評価の方法

主体的に学習に取り組む態度、思考力・判断力・表現力、知識・理解の3観点から総合的に評価する。

### 5 担当者からのメッセージ（確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるに当たって守って欲しい事項など）

「保健」という科目は、「健康を保つ」ことを取り扱う授業で、毎週1時間の授業が行われます。健康問題がテレビや新聞等で大きく取り扱われる現状の中で、正しい情報を取り入れ適切な生活行動を選択できるようになることが求められています。

「保健」では、自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事項を理解するだけでなく、日常生活の中の課題を見つけ出し、解決の方法を導き出すことができるような授業を展開します。

日常生活において、空気と同じようにあって当然、なくなると困るもの、それが健康です。毎日の生活の中で「体の健康」「心の健康」に目を向けましょう。